

「いちばん楽しかったこと」

広島県立広島南特別支援学校

小学部第3学年 宮永 陽愛

りちばん 楽しか ったニと

宮永 ひより

あたしは 国語の もうひ

つか 楽しか ったです。ふで

つか つか つか つか つか つか

とん すー ぴた。 に

へん つか つか つか つか つか

もう ひつ の かばん は つか

え の へこ へん おきます。 くら

い 水 つか つか つか つか つか

右 つか つか つか つか つか

で つか とん すー ぴた。 と

か
ま
ま
す
。
か
ん
字
の
一
つ

と
ん
す
ー
ひ
ん
し
か

ま
ま
し
た
。
上
手
に
か
け
ま
し

た
。
楽
し
か
た
で
す
。
ま
た

も
う
ひ
つ
や
り
た
い
で
す
。
や

< 指導者の言葉 >

生活単元学習の単元「1学期をふりかえろう」において、活動の写真やカレンダー等の予定表を見ながら、1学期に頑張ったこと、できるようになったこと、楽しかったこと、悔しかったことなどを学級内で話をしました。

その後、国語科の単元「かいてみよう」で、1学期を振り返って絵日記を描きました。1学期の行事や授業の中で、児童自身が「一番楽しかったこと」を題材に、絵で表現した後、描いた絵をもとに学級内で発表しました。発表している様子を動画で撮影し、児童と動画を見ながら、話した内容を文字に起こし、児童が仕上げをして、絵日記を完成させました。

本児童は、自分の感じたことや経験を身近な人に伝えたいという姿が多く見られるようになってきました。その伝えたい思いを大切に、伝えるための言葉を定着させるために、以下の3点を意識して指導を行っています。

- ①日々の生活や活動の中で、経験したことをその場で言語化し、言葉として定着させる。
- ②経験したことや感じたことをあらゆる手段で表現する場を設け、伝える経験を積ませる。
- ③伝えたい内容を正しい文章で提示し、日本語の定着を図る。

表彰式で、自分が書いた作品について発表したことにより、自信がつき、自分の思いを伝えること、文章を書くことへの意欲がさらに向上しています。これからも豊かな言葉を身に付け、たくさんの人とのかかわりが広がっていくことを期待しています。